

平成26年度公益社団法人厚木市シルバー人材センター定時総会会議録

1 日 時 平成26年5月28日(水) 午後1時30分～3時50分

2 場 所 厚木市総合福祉センター 6階ホール

3 出席者 会 員 辰巳 昇 ほか338名

理 事 長 宇賀田 治

副理事長 藤井 研一郎

理 事 渡邊 征一 小松 紀久男 古館 博士

飯島 洋治 丸岡 千良子 吉岡 貞雄

菅枝 稔 田中 忠義 庄司 耕治

監 事 吉澤 和枝 門倉 照雄

事 務 局 事務局長 今井 俊雄 次 長 櫛田 正夫

主 幹 村上 陽次 係 長 長島 順一

4 議 題

1 報 告 第 1 号 平成26年度公益社団法人厚木市シルバー人材センター事業
計画について

2 報 告 第 2 号 平成26年度公益社団法人厚木市シルバー人材センター収支
予算について

3 議 案 第 1 号 平成25年度公益社団法人厚木市シルバー人材センター事業
報告について

4 議 案 第 2 号 平成25年度公益社団法人厚木市シルバー人材センター収支
決算について

5 議 案 第 3 号 公益社団法人厚木市シルバー人材センター理事の選任につい
て

6 議案第4号 公益社団法人厚木市シルバー人材センター監事の選任について

7 議案第5号 公益社団法人厚木市シルバー人材センター定款の一部を改正する定款について

(司 会)

会員の皆様、本日は御多用のところ多数の御出席をいただき、誠にありがとうございます。

私は、本日の司会を務めさせていただきます理事の庄司でございます。どうぞよろしくお願いたします。

それでは只今から、平成26年度公益社団法人厚木市シルバー人材センター定時総会を、お手許の資料1頁にございます総会次第により行います。

始めに、市民憲章の朗読をいたします。

皆様、恐れ入りますが御起立をお願いいたします。

表紙を一枚おめくりください。

私が前文を朗読いたしますので、「一つ」から御唱和をお願いいたします。

(市民憲章の朗読)

(司 会)

ありがとうございました。御着席ください。

それでは、開会に当たりまして、宇賀田理事長から御挨拶を申し上げます。

(宇賀田理事長)

皆様、こんにちは。今年は5月に入りまして、日中は非常に暑く真夏日になるような時もありましたが、朝、夕や日陰に入りますと肌寒いような、寒暖の差が非常に激しい日が多くあり、体調管理が難しい陽気でした。皆様方にはお変わりなく、

この定時総会にご出席をいただきまして誠にありがとうございます。また今日は御来賓といたしまして、宮台副市長、議会から越智副議長、厚木市老人クラブ連合会から三橋会長、市担当部から三橋福祉部長に大変お忙しい中御臨席をいただいています。お忙しい中をありがとうございます。

厚木市シルバー人材センターでは会報「ねんりん」を毎年発行していますが、新年のご挨拶の中で干支にちなんでその年の景気が回復するよというこで、毎回願いを込めて御挨拶の中で申し述べてきましたが、リーマンショック以来、残念ながら4年間はその願いは叶うことはありませんでした。平成25年度の干支は巳でございます、巳というのは蛇で脱皮しながら成長するということ、再生の年になるだろうと「ねんりん」で申し述べましたが、経済財政政策であるアベノミクスの効果などで自動車関連等の企業は業績が非常に良くなりまして、決算報告では非常に大きな収益を伸ばしていました。5年目にしてようやく願いが叶い、経済が再生した感がございました。厚木市シルバー人材センターの状況を見ますと、受託事業収益は3億6千8百万円で前年に比べますと4百68万円の増加でございます、日本経済同様、若干景気が良くなったのではないかと感じました。しかし、中身を見ますと企業の契約金額は横ばいで、個人・家庭の仕事が約960万円増加いたしました。受託件数では4,561件と過去最高の件数になり、個人・家庭の仕事は247件の増加ということで、日頃から皆様方を始め役員一丸となりチラシ等の配付によりPR活動をしていただいた結果が表れたのではないかと思います。改めて皆様方に感謝申し上げたいと思います。誠にありがとうございました。

シルバー人材センターは高齢社会の中でどのような役割を果たすべきか考えますと、地域の中で体の弱い高齢者や子育てでお困りになっている方の手助け等がいかにできるかが、センターの存在感を高め、市民の方々に喜ばれ頼られることがシルバー人材センターの発展に繋がるのではないかと思います。その結果、会員の皆様の就業の場が増え、皆様の生きる喜びや充実に繋がるのではないかと

思いますので、これからも、皆様の益々の御尽力をお願いできればと思います。

平成26年に入りまして半年近くが経ちますが、まだまだ景気の回復が順調ではないようですが、干支で言いますと午で飛躍ということで、是非厚木市シルバー人材センターが大きく飛躍できるような年になるよう、会員の皆様に御支援いただければと思います。結びに当たりまして会員の皆様の益々の御健勝と御多幸をお祈り申し上げまして、開催に当たりましての御挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

(司 会)

ここで、本日の厚木市シルバー人材センター定時総会の開催に当たり、御臨席を賜りました御来賓の方々をご紹介申し上げます。

厚木市副市長 宮台功さまです。厚木市議会副議長 越智和久さまです。厚木市老人クラブ連合会会長 三橋道明さまです。厚木市福祉部長 三橋正保さまです。

それでは、御来賓を代表してお二人の方からご祝辞をいただきたいと存じます。

始めに、宮台副市長よろしくお願いいたします。

(宮台厚木市副市長)

皆様こんにちは。御紹介いただきました副市長の宮台と申します。本来であれば小林市長が伺ってお祝いの御挨拶を申し上げるところでございますが、本日は、関東の道路整備促進期成同盟会の会長を仰せ使っておりますので、その関係で横浜に出向いておりますので誠に恐縮でございますが、総会に当たりましてのお祝いの言葉を述べさせていただきたいと思っております。

今日こうしてシルバー人材センターの定時総会が皆さんご参加の下、盛大に開催されますことを心よりお喜び申し上げます。また、日頃からシルバー人材センターでは「自主・自立、共働・共助」の基本理念の下、働くことを通じて地域社会に貢献していただいていることに加えて、ボランティア活動として「一日奉仕の日」或いは「シルバーの日」等様々な活動を実施していただいておりますことに対しまして、心より敬意と感謝を申し上げますとところでございます。

高齢社会の到来ということでございますが、日本の社会の中で就労人口が非常に少なくなっているという状況の中で、皆様方には是非様々な角度から行政への御支援、御協力を賜りたいと思っております。先日、4月26日にはアミューあつぎがオープンいたしました。これは商業施設と公共施設の複合施設としてスタートしましたが、こちらにもシルバー人材センターの皆様には御協力を賜っています。ありがとうございます。市民協働の街づくりの中で、世代を超えた皆様方の活躍が不可欠でございます。特に大きな政策として生涯現役社会を作っていくということで取り組んでいます。福祉の関係や子育て等の様々な分野でそういった活動が欠けていまして、以前から核家族化が進展している中で、社会の中で隣近所との付き合いが非常に希薄化している状況で、様々な社会問題が発生しています。そういった所での手助けというのは、近所の方々の応援がなければあり得ませんし、また、オレオレ詐欺のようなものに引っかかってしまうということについても、地域の中で共同して連絡を取り合っていれば、避けられるのではないかと考えています。社会問題に対する考え方にしても、生涯現役社会として市民協働の街を作っていく上においても皆様の御協力が不可欠でございます。特に今、健康という問題が非常に大きな問題でございますが、最近では寿命が何歳までというよりも、健康寿命が非常に大事で健

康を維持するために何が必要か真剣に考えています。健康を維持するために一番重要なことは、働くという意欲を持つこと、それから食べることに對する意欲、また健康に対する医療検診ということに気を配る。この3点を心掛けることによって健康寿命は飛躍的に増大ができると思っています。その中で働くということは自分自らだけではなく、社会からも喜ばれる訳ですから是非ともこういった活動に積極的に御参加いただいて、行政としても市民協働の街づくりを着実に推進するために、様々な業務の拡大を図っていきたくと考えています。また、その拡大の方策につきましても皆様方から様々な御意見を賜りたいと考えています。どうぞ今後ともシルバー人材センターの益々の御発展と本日この総会開催に当たっての皆様のお健勝を御祈念申し上げまして、開催に当たりましてのお祝いの言葉とさせていただきます。本日は誠にありがとうございました。

(司 会)

ありがとうございました。

続きまして、越智市議会副議長、よろしく願いいたします。

(越智市議会副議長)

皆様こんにちは。只今、御紹介いただきました厚木市議会副議長の越智と申します。

本日は議長が所用で出ていますので、私が代わって市議会を代表いたしまして一言御挨拶を申し上げさせていただきたいと存じます。本日は平成26年度定時総会にお招きいただき誠にありがとうございます。現在の我が国の経済状況は、先程、理事長のお話にもありましたが、回復の兆しが見え始めていますが、まだまだ厳しい状況が続いているというように判断

をしています。厚木市シルバー人材センターにおかれましては設立以来、高齢者の就業促進と生きがい対策のために積極的に事業を展開され成果を上げられているということでございます。これも偏に宇賀田理事長を始め役員や会員の皆様方の御苦勞の賜ものと深く敬意と同時に感謝を申し上げるところでございます。高齢者が自らの特技を生かして働くことが出来る。生きがいを持って生活することが出来るシルバー人材センターの社会的役割は非常に大きなものであろうと考えています。市議会といたしましても市行政とともに健康で働く意欲のある高齢者の皆様の多種多様な技術を生かした生きがい作りや仲間作り、そして地域社会の参加等を応援していきたいと思っています。これからも活力ある高齢社会の実現に向け、シルバー人材センターが一層の役割を果たしていただき、繁栄していくと同時に厚木市の高齢社会に対しての御協力をよろしくお願い申し上げます。最後になりますが、本日の総会が盛大に完了することを御祈念すると同時に皆様方の御健勝を御祈念申し上げまして、御挨拶とさせていただきます。今日は誠にありがとうございました。

(司 会)

ありがとうございました。

なお、4人の御来賓の方々にはそれぞれ次のスケジュールがございますので、ここで御退席されます。

皆さま、盛大な拍手でお送りください。

(司 会)

それでは、これより総会に入ります。

5月21日現在の会員数は1,071名でございます。このうち本日の出席数が3

39名、委任状を提出されている方が601名、合計940名となっております。

このため、公益社団法人厚木市シルバー人材センター定款第18条で規定する過半数の定足数に達しており、総会が成立いたしますので議事に入らせていただきます。

議事進行に当たり、公益社団法人厚木市シルバー人材センター定款第16条の規定により、当該総会において正会員及び特別会員の中から議長を選出することになっております。議長候補者について御推薦がありましたらお願いいたします。

(議長候補者推薦あり)

(司 会)

只今、睦合南地区の荒井紘さんを議長に推薦の声がありましたが、選出することについてご異議ございませんか。

(異議なしの声)

(司 会)

ご異議がないようですので、睦合南地区の荒井紘さんを選出しましたので、荒井さん、よろしくお願いいたします。

(議長選出)

(議 長)

只今議長に選任されました睦合南地区の荒井でございます。

何分にも不慣れでございますので、皆様の御協力をいただき、この総会がスムーズに進行できますよう特段のご協力をお願いいたします。

(議長)

それでは議事に入ります。

先ず、報告事項でございます。

報告第1号「平成26年度公益社団法人厚木市シルバー人材センター事業計画について」と、報告第2号「平成26年度公益社団法人厚木市シルバー人材センター収支予算について」は関連がございますので、一括議題といたします。

事務局の説明を求めます。

(事務局)

報告第1号「平成26年度公益社団法人厚木市シルバー人材センター事業計画について」と、報告第2号「平成26年度公益社団法人厚木市シルバー人材センター収支予算について」、ご説明申し上げます。

以下、事業計画と収支予算について説明。

(議長)

事務局の説明が終わりました。

これより質疑に入りますが、質問される方は5月23日までに申し出をしていただくことになっており、事前に申し出をされた方がいられるようです。

申し出をされた方は、該当する議案の際に改めて挙手により地区名、お名前、質問内容をお願いいたします。

また、本日特に質問をされたい方は、同じく挙手により地区名とお名前をお願いします。

(議 長)

質問がなければ質疑を打ち切りますが、ご異議ありませんか。

(異議なしの声)

(議 長)

異議なしの声がありましたので、質疑を打ち切ります。

本件は報告事項ですので質疑のみに留めます。

続きまして、決議事項でございます。

議案第1号「平成25年度公益社団法人厚木市シルバー人材センター事業報告について」と、議案第2号「平成25年度公益社団法人厚木市シルバー人材センター収支決算について」は関連がございますので、一括議題といたします。

事務局の説明を求めます。

(事務局)

議案第1号「平成25年度公益社団法人厚木市シルバー人材センター事業報告について」と、議案第2号「平成25年度公益社団法人厚木市シルバー人材センター収支決算について」、ご説明申し上げます。

以下、事業報告と収支決算について説明。

(議 長)

事務局の説明が終わりましたが、議案第1号「事業報告」と議案第2号「収支決算」につきましては、既に監査が済んでいるようでございます。

吉澤監事から監査報告をお願いいたします。

(吉澤監事)

監査報告をいたします。

以下、監査報告

(議 長)

事務局の説明と吉澤監事による監査報告が終わりました。

なお、センターでは平成21年度から税理士による外部監査を導入し、議案書51頁のとおり月次監査の報告と決算書類の確認について証明書が添付されています。

これより質疑に入ります。質問のある方は挙手により地区名とお名前をお願いします。

(議 長)

質問がなければ質疑を打ち切り、順次採決したいと思います。ご異議ありませんか。

(異議なしの声)

(議 長)

異議なしの声がありましたので、採決いたします。

議案第1号「平成25年度公益社団法人厚木市シルバー人材センター事業報告について」、原案を承認することに賛成の方の挙手を求めます。

(挙手多数)

(議 長)

挙手多数と認めます。

よって、議案第1号「平成25年度公益社団法人厚木市シルバー人材センター事業報告について」は原案のとおり承認することに決定しました。

続きまして、議案第2号「平成25年度公益社団法人厚木市シルバー人材センター収支決算について」、原案を承認することに賛成の方の挙手を求めます。

(挙手多数)

(議長)

挙手多数と認めます。

よって、議案第2号「平成25年度公益社団法人厚木市シルバー人材センター収支決算について」は原案のとおり承認することに決定しました。

続きまして、議案第3号「公益社団法人厚木市シルバー人材センター理事の選任について」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

(事務局)

議案第3号「公益社団法人厚木市シルバー人材センター理事の選任について」、ご説明申し上げます。

以下、理事の選任について説明。

(議長)

事務局の説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。

質問のある方は挙手により、地区名とお名前をお願いします。

(菅野会員)

南毛利地区の菅野と申します。

この理事候補者の名簿を見ますと、一つの地域で3名から4名の理事候補になられている方がいます。ここに記載されている方は資質や意欲のある方だと思いますので反対はしませんが、次回から各地域の会員数の按分を考えて候補者を出していただきたいというのが私の要望、提案です。

(議長)

只今の質問に対しまして、事務局の説明を求めます。

(事務局)

只今、地域班の会員数を考慮してという要望がございましたが、従前は地域班から理事を選出していましたが、現在は職群から理事を選出しています。これは皆さんにお諮りして了承を得ているものでございます。しかし、地域が偏り不都合が生じれば所要の措置を講じたいと思いますが、現状では職群からの選出ということでご理解いただきたいと思えます。

(議長)

只今事務局から回答がございましたが、よろしいでしょうか。

(菅野会員)

了解しました。

(議長)

他にご質問ございますか。

質問がなければ質疑を打ち切り採決したいと思えますが、ご異議ございませんか。

(異議なしの声)

(議長)

異議なしの声がありましたので、採決いたします。

ここで申し上げます。本来でありますと理事候補者を個別に採決するところですが、本日出席の会員皆様の御了解があれば、理事候補者を一括で採決したいと思っておりますが、ご異議ございませんか。

(異議なしの声)

(議長)

異議なしの声がありましたので、理事候補者を一括で採決いたします。

議案第3号「公益社団法人厚木市シルバー人材センター理事の選任について」、原案を承認することに賛成の方の挙手を求めます。

(挙手多数)

(議長)

挙手多数と認めます。

よって、議案第3号「公益社団法人厚木市シルバー人材センター理事の選任について」は原案のとおり承認することに決定しました。

続きまして、議案第4号「公益社団法人厚木市シルバー人材センター監事の選任について」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

(事務局)

議案第4号「公益社団法人厚木市シルバー人材センター監事の選任について」

て」、ご説明申し上げます。

以下、監事の選任について説明。

(議 長)

事務局の説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。

質問のある方は挙手により、地区名とお名前をお願いします。

(議 長)

質問がなければ質疑を打ち切り採決したいと思いますが、ご異議ございませんか。

(異議なしの声)

(議 長)

異議なしの声がありましたので、採決いたします。

ここで申し上げます。本来でありますと監事候補者を個別に採決するところですが、本日出席の会員皆様の御了解があれば、監事候補者を一括で採決したいと思います。ご異議ございませんか。

(異議なしの声)

(議 長)

異議なしの声がありましたので、監事候補者を一括で採決いたします。

議案第4号「公益社団法人厚木市シルバー人材センター監事の選任について」、原案を承認することに賛成の方の挙手を求めます。

(挙手多数)

(議 長)

挙手多数と認めます。

よって、議案第4号「公益社団法人厚木市シルバー人材センター監事の選任について」は原案のとおり承認することに決定しました。

続きまして、議案第5号「公益社団法人厚木市シルバー人材センター定款の一部を改正する定款について」を議題といたします。

事務局の説明を求めます。

(事務局)

議案第5号「公益社団法人厚木市シルバー人材センター定款の一部を改正する定款について」、ご説明申し上げます。

以下、定款の一部を改正する定款について説明。

(議 長)

事務局の説明が終わりましたので、これより質疑に入ります。

質問のある方は挙手により、地区名とお名前をお願いします。

(議 長)

質問がなければ質疑を打ち切り採決したいと思いますが、ご異議ございませんか。

(異議なしの声)

(議 長)

異議なしの声がありましたので、採決いたします。

ここで申し上げます。議案第5号「公益社団法人厚木市シルバー人材センター

定款の一部を改正する定款について」につきましては、公益社団法人厚木市シルバー人材センター定款第47条で、総会において正会員及び特別会員の総数の半分以上であって、正会員及び特別会員の総数の議決権の3分の2以上の議決により変更することができるかと定めております。

よって正確に賛否を取ります。

採決の方法は時間の都合もありますので、原案に賛成以外の方の起立をお願いいたします。

なお、起立された方は数を確認しますので、恐れ入りますがそのままお立ちください。

(起立なし)

(議長)

起立なしと認めます。

ここで再び申し上げます。5月21日現在の会員数は1,071名でございますので、その3分の2は714名となります。

本日の出席者、委任状提出者は940名でございますので、原案に賛成の方が940名となり、3分の2以上の賛成が得られましたので、議案第5号「公益社団法人厚木市シルバー人材センター定款の一部を改正する定款について」は原案のとおり承認することに決定しました。

(議長)

以上をもちまして、今回提出されましたすべての議案の審議が終了いたしました。先程、該当しない議案の際に、質問又は意見を述べられた方は、改めて発言をお願いいたします。

(小林会員)

厚木南地区の小林です。

先程、議長が発言しても良いとおっしゃったので簡単に申し上げます。

今回この議案書を作成された事務局の方には、素晴らしい議案書だと申したいと思います。会員が1,045名でプロパー職員が5名ですので一人の職員が約200名の会員を担当していることに敬意を表します。ありがとうございます。安全・適正就業のところペナルティーという言葉が初めて出てきましたが、このペナルティーを無くすには、会員を面接し適材適所の会員を就業させるのがシルバー人材センターの使命ではないかと思えます。如何でしょうか。

(議長)

只今の質問に対しまして、事務局の説明を求めます。

(事務局)

ペナルティー制度につきましては、安全就業の徹底を図る上で何度も指導させていただいた上で、改善が見られない場合にはどうするかということで、現在安全管理委員会で検討しています。施行に当たりましては、方向性が決まり次第皆様方に事前に周知をさせていただき、制度に基づき取り組んで行きたいと考えています。それと企業への人選についての面接についてですが、シルバー人材センターの基本理念といたしましては、会員は平等の取扱いが原則ですので、面接は考えていませんが、就業先で問題がある場合には、発注者と協議の上対応していくということになります。

なお、このこと以外についても、後日、事務局にお越しいただき、御説明をさせていただきたいと思えます。

(議長)

後日、事務局へ出向いて説明を受けていただくということでよろしいですか。

(小林会員)

はい、わかりました。

(議長)

以上を持ちまして、議長の任を解かせていただきます。

皆様、御協力ありがとうございました。

(議長退席)

(司会)

荒井さん、大変お疲れ様でした。

それでは、ここでお時間をいただきまして、只今御承認をいただきました新理事の方々により、新たな理事長、副理事長及び常務理事の選定のための理事会を行いますので、終了するまでしばらくお待ちください。

なお、この間を利用して、トイレ休憩の後、事務局から連絡事項がありますので、お聞きください。

それでは新理事及び新監事の皆さん、別室にお移りください。

(事務局)

この間を利用して、事務局から連絡事項がありますので申し上げます。

以下事務局から連絡事項

「年会費納入について(配分金から年会費控除)」

「今後の日程について」

- ・第1回地域班会議(案件含む)

- ・一日奉仕の日

(事務局)

只今、別室で行われておりました新たな理事長、副理事長及び常務理事の選定のための理事会が終了いたしました。

理事会の選定結果を発表する前に、退任されました役員の方々を御紹介いたしますので、どうぞ壇上にお上がりいただきたいと存じます。

(退任役員壇上に上がる)

(事務局)

それでは事務局からご紹介いたします。

学識経験者からの選出で理事長であられました宇賀田治さまでございます。

管理群選出で理事であられました飯島洋治さまでございます。

一般作業群選出で理事であられました吉岡貞雄さまでございます。

管理群選出で理事であられました田中忠義さまでございます。

地域活動委員会から選出で理事であられました菅枝稔さまでございます。

事務群からの選出で監事であられました吉澤和枝さまでございます。

なお、行政機関から選出で理事であられました古村耕介さま、常務理事兼事務局長であられました三平定邦さま、地域活動委員会からの選出で理事であられました柳田正夫さまは、本日欠席でございます。

以上9名の方が退任されました。

それでは、退任された役員の方々を代表して、宇賀田前理事長に御挨拶をお願いいたします。

(宇賀田前理事長)

只今紹介されました理事、監事を退任いたしました6名を代表して一言御挨拶をさせていただきます。

理事、監事の大変重要な職務を全う出来ましたのも偏に会員の皆様の暖かい御支援と御協力があったものと心から感謝申し上げます。私事で大変恐縮でございますが、私は理事長といたしまして、1期2年を3期に渡りまして重責を大過なく全うすることができました。これも偏に会員の皆様方の暖かい御支援があったものと改めて心から感謝申し上げます。退任に当たりまして結びになりますが、これからも厚木市シルバー人材センターの益々の発展と会員の皆様方の御多幸と御健勝を心から祈念申し上げまして、退任の御挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

(事務局)

ありがとうございました。

退任された役員の皆様、大変お疲れさまでした。

どうぞ御自席のほうにお戻りください。

(事務局)

続きまして、新役員の方々を御紹介いたしますので、どうぞ壇上にお上がりいただきたいと存じます。

(事務局)

それでは、新理事長、副理事長、常務理事の選定につきまして、理事会で座長を務められました丸岡理事から御報告をお願いします。

(丸岡理事)

それでは、選定の結果について申し上げます。

理事長には志村利夫さま、副理事長には藤井研一郎さま、常務理事には今井俊雄さまに決定となりましたので、御報告いたします。

(事務局)

丸岡理事、有難うございました。

それでは、新役員の方々を紹介いたします。

新理事長に決定しました志村利夫さまでございます。

副理事長に決定しました藤井研一郎様です。

常務理事に決定しました今井俊雄さまです。

行政からの選出の重田良允理事でございます。

自治会連絡協議会から選出の渡邊征一理事でございます。

老人クラブ連合会から選出の小松紀久男理事でございます。

シルバー人材センター会員で管理群選出の古舘博士理事でございます。

サービス群選出の丸岡千良子理事でございます。

管理群選出の庄司耕治理事でございます。

管理群選出の宇喜田英郎理事でございます。

技能群選出の草柳英雄理事でございます。

一般作業群選出の田中行衛理事でございます。

一般作業群選出の田中節子理事でございます。

地域活動委員会委員長の望木文夫理事でございます。

地域活動委員会副委員長の伊藤典雄理事でございます。

学識経験者から選出の門倉照雄監事でございます。

シルバー人材センター会員で事務群選出の川越美智子監事でございます。

(事務局)

それでは、新役員を代表して、志村利夫理事長から御挨拶を申し上げます。

(志村理事長)

先程開催されました理事会におきまして宇賀田前理事長の後任として、理事長という大役を仰せつかりました志村でございます。37年に渡る歴史と実績を誇ります当センターの理事長を仰せつかりましたことは大変光栄であり、同時に身の引き締まる思いでございます。始めにここで退任されました宇賀田前理事長を始め、理事、監事の方々におかれましては、長きに渡り経済不況の中を着実に事業を推進されるとともに、事務所機能の充実や後期実施計画の策定、更には公益社団法人移行等、当センターの運営に御尽力をいただきましたことに改めてお礼申し上げます。ありがとうございます。

さて、当センターを取り巻く環境についてでございますが、一つは国の経済財政政策の効果もあり、景気回復の動きが少しずつ広がりつつありますが、未だ身を持って実感する程に至っていません。したがって、当面厳しい状況が続くと思われま。一方、全国的に少子高齢社会が着実に進展しています。この少子高齢化は社会全体に様々な影響を及ぼしていますが、その中で特に生産年齢人口の減少、これは先程、副市長からもございましたが、15歳から64歳までの現役世代の人口が減少しているということでございます。厚木市におきましても人口そのものは横ばいですが、この生産年齢人口が5年間で1万人程減少しています。そういった状況の中から今の経済を維持し、地域社会を活性化するためにも、大きな課題となっています。そのような状況の中で、健康で就業意欲のある高齢者の方々に就業の機会を提供していくシルバー人材センターの役割、公益的な支援というのは益々増えていくものと思われま。

昨年度からスタートしています中・長期基本計画の後期実施計画に沿いまして役職員が一丸となって会員の増強や受注の拡大、さらには安全就業の徹底等につきまして推進してまいりたいと考えていますので、会員の皆様におかれましては今まで以上にセンター事業に対して参画をいただくとともに、御理解と御協力をいただきますようお願い申し上げます。就任の御挨拶とさせていただきます。今後ともよろしくお願いたします。

(事務局)

以上をもちまして全日程が終了いたしました。

本日は大変長時間にわたりお疲れさまでした。

これから梅雨、また、暑い夏の時期に入りますので、就業の際には体調に十分気をつけていただき、就業途上についても、交通安全に心掛けていただきますようお願い申し上げます。

以上で、平成26年度公益社団法人厚木市シルバー人材センター定時総会を閉会といたします。

お帰りの際は、交通事故等にくれぐれも注意してお帰りください。

本日は誠にありがとうございました。

閉会 午後3時50分

上記会議の顛末を記載し、その相違ないことを証して、ここに署名する。

平成26年 月 日

議長

印

代表理事

印

代表理事

印